

ともがき

7月号の2

学校教育目標 夢をもち かしこく やさしく 元気な子を育てる

H P

<http://www.ed-tsuyama.jp/chusei-es/>

平成30年7月9日(月)

ひどい雨でした。今回は、活発な梅雨前線による記録的な大雨でした。たくさんの人に大きな影響がありました。報道されていないところにも、多くの被害がありました。

中正小学校体育館が避難所になり、宮部や長谷の一部のご家庭（本校の児童も家族の方と一緒に）が大雨の中、避難して来られ、心配な時間を体育館で過ごされました。

地区の消防団の保護者の方も木曜、金曜と仕事をおいて、地区の安全のために夜中まで活動されていました。避難所の様子を何度も見に来られましたが、連日の任務と緊張のためにお疲れの様子でした。

たくさんの方が不安な二日間を過ごされました。その中で、避難していた宮部や長谷の高学年女子が、体育館の黒板に、かわいらしい絵を描いて「笑顔」とかいて雰囲気明るくしてくれていました。子どもなりに、自分ことだけでなく全体を考えてくれたことがうれしかったです。

避難されている方々は、「先生のところは大丈夫なんですか？」と、ご自身も大変なのに、私たちにねぎらってくださいたり、「遅くまでありがとうございます」とお礼を言ってくださったりして、その気持ちがとてもありがたかったです。

今回の避難所開設にあたり、市役所の係の方にはお伝えしましたが、安全のために、他の人に見えにくいところ（＝ステージや体育倉庫）には、入らないようにしてもらいました。反面、授乳や高齢の方の着替えなど、他の人に見られたくない時に使える、他の人から見えないスペースも必要です。カーテンと移動黒板の脚を使って、目隠しをいくつか作りました。

長期にわたり、また、地域の方以外の方も避難して来られたりする場合もあるかもしれません。これまでの他都道府県の災害避難所での性被害の話も聞いています。避難所では、たくさん大人の目はありますが、女性や子ども達を守る視点を忘れず、目を離さないようにしてほしいと思います。

県南では、堤防決壊等で地区全体が浸水になっているところもあり、まだ、避難状態が続いています。みなさまの親戚、知人の方とは連絡が取れましたか。みなさまの無事を願っています。

職員も金・土・日と今朝、通学路の安全確認のために学区内を回りました。通学路については、登下校の支障になりそうなところはありませんでしたが、まだ、大雨の影響は残っており、土砂災害の危険もあります。台風の接近、梅雨末期の集中豪雨なども心配されます。

みなさま、今後も十分にお気をつけください。

※お店に行くと、野菜や肉・魚など、たくさんの物が品薄になっていました。流通の関係で、納品ができないとのことでした。新聞やTVなどの報道でもそのことは出ていましたが、実際に売り場を見ると、いろいろな地域間のつながりがあることを、改めて実感しました。

通勤中に10数台の自衛隊の車輛とすれ違いました。愛知県の春日井からの派遣でした。ここに来てくれている人にも家族があり、互いに無事を祈り合っているのだらうと思いました。たくさんの人に「ありがとう」と手を合わせる思いで学校に来ました。

今朝は、全校朝の会で今回の災害のことについて話をしました。子ども達が元気に学校に来て授業ができることは、とてもありがたく、周囲の人を励ましていることでもであると伝えました。